

願う

レアリア	話題分野	難易度
だるま 絵馬	新学期 わたしの夢	A ② C

【テーマ】だるまに願いをかける 【実施時期】春節明け

【必要時間】1 コマ

【対象クラス】中学2年生（40人/二外・週2コマ/2年コース）、2年目

学習目標	言語領域	だるまにかける願いについて、自分の書いたものを見せながらクラスメートに簡単な日本語で紹介できる。
	文化領域	1) 生活の中で縁起物や身近な物に願いをかける行動や習慣を振り返り、それらの理由を考えてみる。 2) だるまに関する基本的な情報と目を入れる習慣を知る。
	社会領域	1) だるまがどんな時にどのように使うものか観察し、自分の考えを積極的に発言する。 2) グループで積極的に互いの考えを交わし合い、意見をまとめることができる。
言語項目	☞ 話す/聞く だるま、縁起物（えんぎもの） ☞ 書く ～祈願（きがん）、Nができる/できます（復習）	
評価	1) グループワークシートによる意見まとめ（課題理解、時間、協働性） 2) だるまシートの制作（課題遂行、完成度、工夫） →教師によるルーブリック評価を実施する。	
準備するもの	<input type="checkbox"/> だるま（中） <input type="checkbox"/> PPT <input type="checkbox"/> だるまシート*（各自1枚） <input type="checkbox"/> グループワークシート*（4人×10グループ/10枚） <input type="checkbox"/> 評価ルーブリック*（教師用） ■生徒は事前に新年（新学期）の目標や願い、希望をノートに日本語や中国語でメモしてくる（事前の宿題）	
時間	活動の流れ	
導入 (3分)	だるまを観察する 1) だるまを見せ、どんな時に使うかを考え、生徒は自由に自分の考えを述べる。 ☞ 「合格祈願、福入、家内安全、商売繁盛」などの文字が入っているだるまの写真を提示する。生徒はそこからヒントを得てまた考えてみる... 2) 今日のテーマと学習目標を提示し、生徒は活動の流れや内容を把握する。	
展開① (15分)	だるまの風習（いつ、どのように、なんのために）を考える <input type="checkbox"/> product <input type="checkbox"/> practice 1) だるまの基本的な情報（PPT）と教師の説明から得る。	